

初めての方のための新 IoT.kyoto VIS 手順書

[1] サインイン画面

- 1: 「サインイン」ボタン・・・新規登録を終えた後はここからサインインしてください
(旧VISサイトで登録されたログイン情報もこちらで利用することができます)
- 2: 「新規登録」ボタン
- 3: 「パスワードを忘れた方はこちら」リンク

1. まずは新規登録から始めましょう！

- 1-1. 「新規登録」ボタンをクリックすると、新規登録画面が出てきます。

1-2. メールアドレスとID、パスワードをそれぞれ入力します

ID がメールアドレスと同じで問題なければ

「メールアドレスと同じものを ID として利用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。

***パスワードを設定する際は大文字、小文字、数字をそれぞれ含め、8文字以上で設定してください。
(設定しないとエラーが出てしまいますよ！)**

1-3. 認証メールが設定したメールアドレス宛に送信されるのでちょっと待ってください
メール内のリンクをクリックしたら、新規登録はOK！

2. パスワードを忘れてしまった場合

2-1. 「パスワードを忘れた方はこちら」リンクをクリックしてください



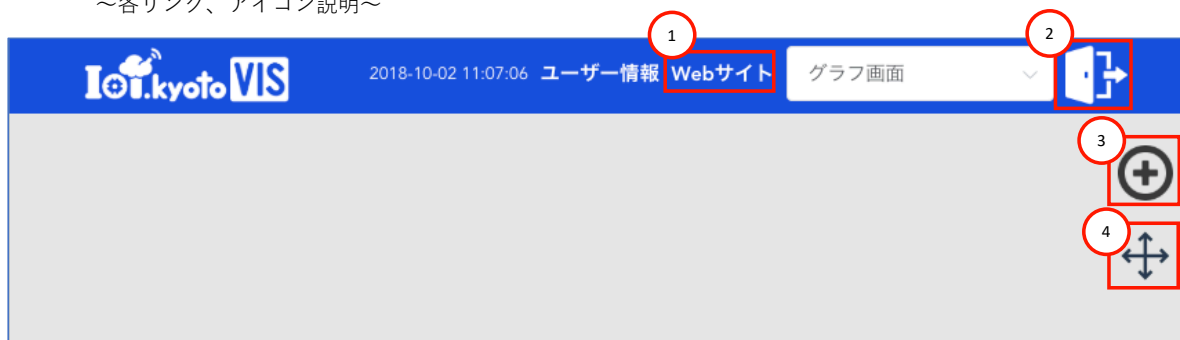
2-2. ID を入力して、「パスワードをリセットする」ボタンをクリックします
新しいパスワードを設定してください

***ただし！ID まで忘れてしまうとリマインダーページでは対応できないので、ご注意くださいね！**

アカウントの設定ができたなら、次はグラフの表示をしましょう！

[2] グラフ画面ページ

～各リンク、アイコン説明～



- 1: 「Webサイト」リンク・・・クリックすると、IoT.kyoto のWebサイトが開きます
- 2: 「サインアウト」アイコン・・・クリックでサインアウトします
- 3: 「グラフ追加」アイコン
- 4: 「並び替えモード切り替え」アイコン

1. それでは早速グラフを追加しましょう！

2-1. 「グラフ追加」アイコンをクリックします
グラフ設定画面が出てきます

2-2. 「グラフ設定」を設定しましょう
順番にやっていきましょう！

2-2-1. まずは認証情報ストア！

既に設定している認証情報ストアを設定する場合はプルダウンより選択してください


認証情報ストアを追加します！


認証情報ストアを追加する場合は選択リストの右にあるアイコンをクリックします



フォルダアイコンをクリックします

—認証情報設定—

認証情報ストアを削除したい場合は「」アイコンをクリックします

前のページに戻りたい場合は「」アイコンをクリックします

- ・ 認証ストア名に任意の認証ストア名を入力します
- ・ AWSのアクセスキーとシークレットキー、リージョンコードを入力します

リージョンコードはこちらの図を参考にしてください。（2018年10月時点）

最新のリージョンコードは別途AWSのリージョンとアベイラビリティゾーンのページで確認してください
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/using-regions-availability-zones.html

コード	名前
us-east-1	米国東部（バージニア北部）
us-east-2	米国東部（オハイオ）
us-west-1	米国西部（北カリフォルニア）
us-west-2	米国西部（オレゴン）
ca-central-1	カナダ（中部）
eu-central-1	欧州（フランクフルト）
eu-west-1	欧州（アイルランド）
eu-west-2	欧州（ロンドン）
eu-west-3	EU（パリ）
ap-northeast-1	アジアパシフィック（東京）
ap-northeast-2	アジアパシフィック（ソウル）
ap-southeast-1	アジアパシフィック（シンガポール）
ap-southeast-2	アジアパシフィック（シドニー）
ap-south-1	アジアパシフィック（ムンバイ）
sa-east-1	南米（サンパウロ）

※背景色がついているリージョンコードがデフォルトです

全て入力を終えたら、画像枠内のアイコンをクリックし、認証ストアを追加します

2-2-2.次はテーブル設定を設定しましょう！

AWS DynamoDB で設定したテーブルの情報を入力します。

テーブル名・・・テーブル名を入力します

パーティションキー・・・パーティションキーを入力します

ソートキー・・・ソートキー（タイムスタンプ）を入力します

日時フォーマット・・・日時フォーマットは8種類あるのでソートキーに合わせて設定します

2-2-3. あともう少し！グラフ描画設定を入力します

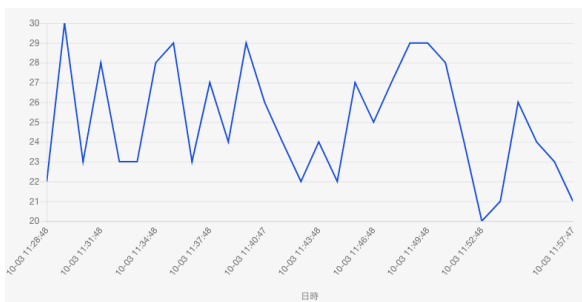
1: 任意のグラフタイトルを入力します。グラフの上部に表示するのでわかりやすい名前をつけてくださいね。
グラフ更新間隔を何秒にするか入力します。1秒でもなめらかに更新します。
グラフ描画幅を選択します。後でも設定し直せるのでひとまず入れてしましましょう！
グラフ日時フォーマットの中から好きなものを選んでください。

2: レンジ設定のon、offを切り替えます。

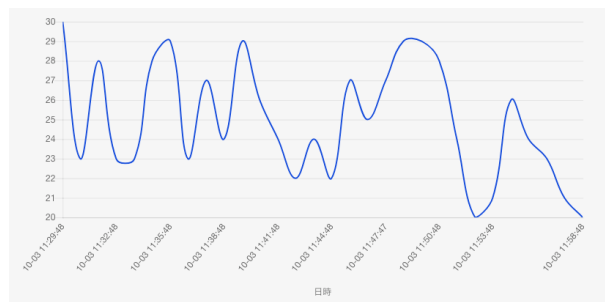
数値を設定することで、グラフの縦軸の最小値と最大値を固定の数値で表示することができます

3: グラフ線を直線（カクカクしている）、または曲線（ぬるぬるしている）に切り替えます。

直線グラフ



曲線グラフ



- 4: パーティションキーと表示対象キーをそれぞれ設定します
手動で設定する場合はフォルダアイコンをクリックします

パーティションキー 選択してください

表示対象キー 選択してください

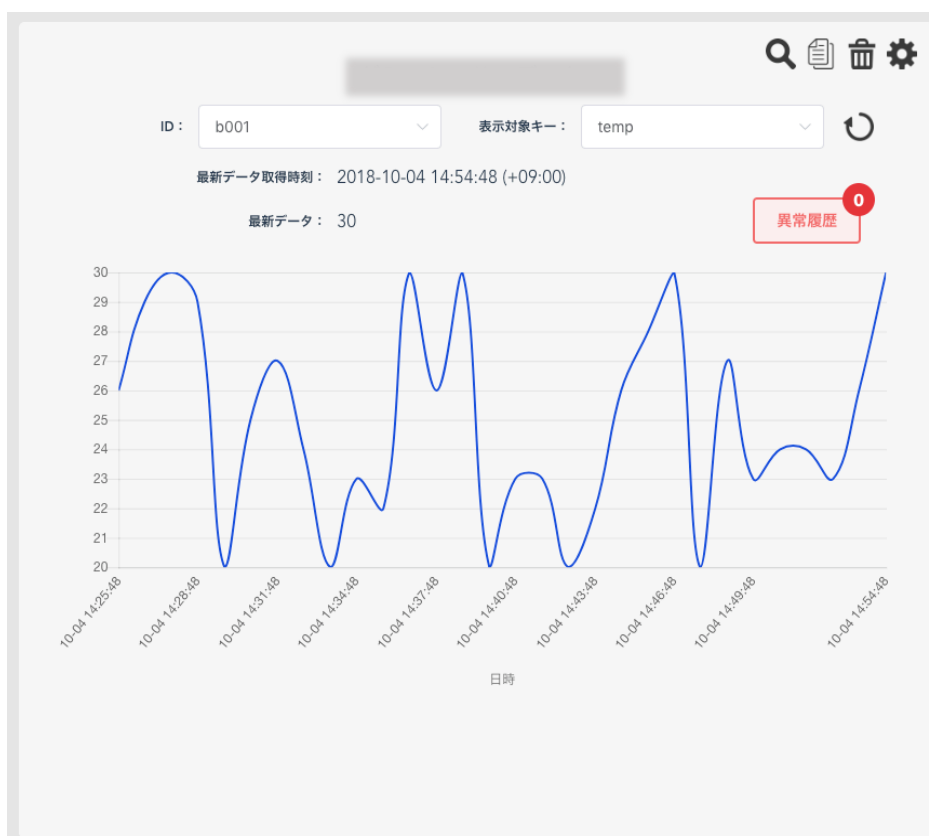
パーティションキー 選択してください

キー名

- 計測したいパーティションキーを入力して右横の「追加」アイコンをクリックします
※表示キーを手動で入力する場合も同じ手順で追加できます

- 2-3. グラフ設定が全て完了したら「保存」ボタンをクリックします

＼ グラフを表示できました！ ／



次はグラフパネルを使ってみましょう！！

3. グラフパネルを触ります



- 1: 「検索」アイコン
- 2: 「設定コピー」アイコン・・・グラフ設定をコピーします
- 3: 「グラフ削除」アイコン・・・グラフを削除します
- 4: 「グラフ設定」アイコン・・・グラフ設定を表示します

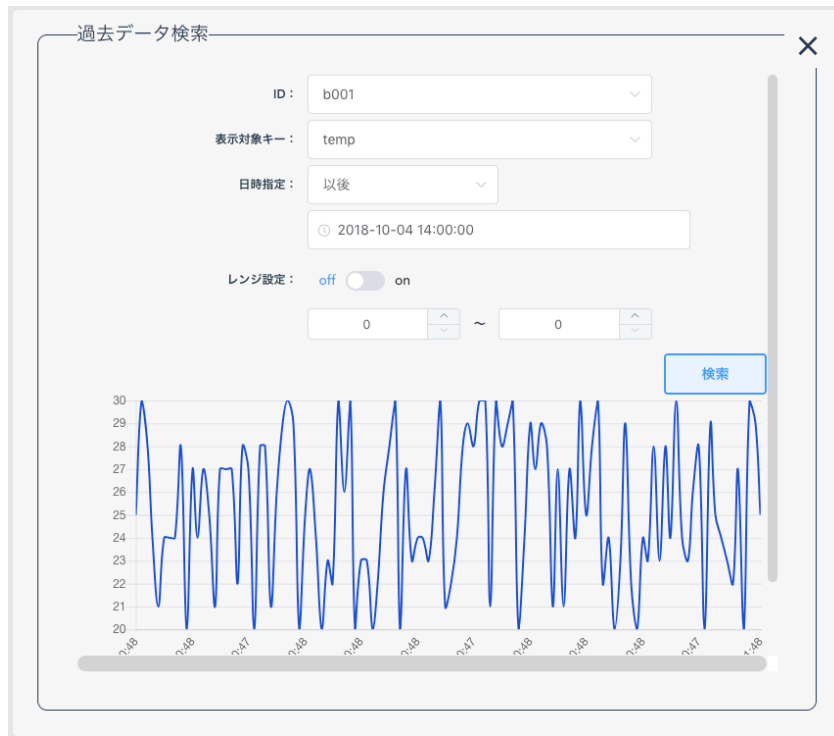
3-1. 過去のデータを検索したい！

「検索」アイコンをクリックします

- 1: 検索するID（パーティションキー）と表示対象キーを選択します
- 2: 日時指定を選択します
設定した日時の「以後」「以前」、期間を指定する「期間指定」が設定できます
- 3: レンジ設定のon、offを切り替えます
レンジ設定はさっき説明したので省きます！

検索したい条件を設定したら「検索」ボタンをクリックします

検索結果が出ました



4. グラフを並び替えたい!

「グラフ移動」アイコンをクリックします

検索 印刷 削除 設定

ID: b001 表示対象キー: temp

最新データ取得時刻: 2018-10-04 15:35:47 (+09:00)

最新データ: 24

異常履歴 0

ここをドラッグしてグラフを並び替える

並び替えモードを終了する

並び替えモードに切り替わるのでドラッグ&ドロップでグラフの並び替えができます!
終了する際は「並び替えモードを終了する」をクリックすると切り替わります

これで基本的な操作ができました!

ここで説明していない機能については～オプション編～を参考にしてくださいね!

<http://docs.iot.kyoto/newVIS-manual-option.pdf>